

子育て支援と多世代交流を促す屋外あそび場 京都府 亀岡市の子育て支援拠点「あおぞらひろば」を協業開発 2021年4月29日(木・祝)オープン

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、京都府亀岡市と連携し、地域の子育て支援拠点として道の駅「ガレリアかめおか」の屋上庭園に、2021年4月29日(木・祝)にオープンする屋外あそび場「あおぞらひろば」の環境をプロデュースしました。

子どものあそびや多世代交流の促進に … 社会インフラとしての「あそび場」を、多くの自治体と開発

昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。一方で、子育て中の親の孤立化も課題となっています。こうした問題を解決すべく、当社は自社の室内あそび場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、各地の自治体と協働してこれまで約35カ所のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニティのハブとして、街の活性化に寄与しています。

京都府亀岡市：地域のハブとなる遊環境を開業、子どもの身体遊びや多世代交流を促進

京都府で3番目に人口の多い亀岡市は、豊かな自然に囲まれ、京都市と大阪府どちらにもアクセスしやすいことから、都市部に通勤する子育て世帯が多い地域です。また、市の交通の中心となるJR亀岡駅周辺で住宅地の整備が進行し、さらなる転入が見込まれる中、孤立することなく子育てができる環境が求められています。そこで、同市はJR亀岡駅から市役所を経由して「ガレリアかめおか」を結ぶゾーンを「子育てコリドー(回廊)」と位置づけ、子どもの居場所や子育て支援、相談の機能を導入し、地域住民と一緒に子育てするまちの実現を目指しています。

こうしたなか、「子どもの遊び場所がほしい」という市民の声を受け、市では多世代が交流できる、子育て支援の拠点の整備を開始しました。2020年12月には、物産市場や生涯学習施設、多目的スペースなどが併設された地域のハブである道の駅「ガレリアかめおか」に、室内あそび場「かめまるランド」を当社との協業開発でオープンしました。今回はこの「ガレリアかめおか」の屋上庭園に屋外あそび場施設「あおぞらひろば」を開業します。

「あおぞらひろば」は自然豊かな亀岡市らしく、季節ごとに楽しめる樹々などの緑と、あそびの機能を融合した屋上空間です。子どもが夢中で遊びながら、発達に必要な体の動きや仲間とのコミュニケーション、音・陽の光・香り・植物や土・砂などの自然を体感することができます。また、ガレリアかめおかを訪れる誰もが利用できるようにすることで、多世代交流が生まれる場としての機能も備えました。



当施設は、子どもが思う存分身体を動かしてダイナミックなあそびを楽しめる「大型遊具エリア」や、外の環境で自然に触れて遊べる「砂・水遊びエリア」などが一体となり、子どもとその保護者をはじめ多世代の方々を利用・交流できる「見守り・くつろぎの場所」を多数設けました。

● 大型遊具エリア



幅広い年齢の子どもが、成長や発達に応じて思う存分身体を動かして遊ぶことができるエリアです。回転する、揺れる、滑るなどのあそび体験が楽しめます。子どもとあそびについて研究し、遊具開発を行うコンパン社(デンマーク)の大型遊具が揃います。学童期の児童や青少年も遊ぶことができるよう、多面体を登って楽しむクライミング遊具「ブロックス」や、回転遊具「スーパーバ」など、チャレンジして達成感が味わえる遊具も備えています。

● 砂・水遊びエリア



太陽の下でも安心して遊べるようタープを設置した、砂や水で思い切り遊ぶことができるエリアです。子ども同士で協力して砂山を作って水を流してみたり、水の量を微調整しながら集中しておだんごを作ってみたり、遊びながら砂の形や硬さ、温度、質感などを肌で感じ、素材の性質を体験として理解しながらあそびに集中できる砂場や遊具を配置しています。

● 見守り・くつろぎの場所



子どもやその保護者はもちろん、地域の学生やシニアなど、ガレリアかめおかを訪れた誰もが気軽にくつろげるエリアです。様々な樹々に囲まれながら、腰を下ろしてリラックスできるベンチを多数設置しました。あそび場と区切らずに一体化させることで、保護者の方々が子どもを見守りながら、子育て仲間を作り、交流ができます。

2020年12月21日 ガレリアかめおか内に未就学児向け室内あそび場「かめまるランド」をオープン

地元企業 小城製薬株式会社のふるさと納税制度の活用による支援により、ガレリアかめおか内に、未就学児対象の室内あそび場「かめまるランド」を、亀岡市と当社で協業して開発しました。天井に天窓がある特徴的な空間を活かすためのゾーニングとデザインにこだわり、差し込んだ自然光が心地よい雰囲気演出するよう、高さのある木製遊具をシンボルとして設置。コロナ禍の現在は予約制の利用で、1日100組程度の親子が遊んでいます。広々とした環境で存分に遊べる貴重なあそび場として、市内外の親子に利用いただいています。



京都府亀岡市 道の駅ガレリアかめおか内「あおぞらひろば」概要

- 所在地：京都府亀岡市余部町宝久保 1-1 ガレリアかめおか 屋上
- 施設面積：1,534 m²
- 利用可能時間：9:30～16:00
- 遊具の対象年齢：乳幼児から小学校中学年程度
- 開業日：2021年4月29日(木・祝)
- 運営管理：亀岡市
- 電話番号：0771-25-5126

行政と協業したあそび場の開発 事例紹介（京都府）

京都府宮津市：子育て支援センター「にっこりあ」（2017年11月オープン）



宮津市では、地域に住む就学前の子どもを持つ子育て世帯の暮らしをより豊かなものにするため、市内唯一の商業施設内に、地域密着型のあそび場施設「子育て支援センター「にっこりあ」」を開設しました。多種多様な遊具で子どもが思う存分体を動かして遊べるのはもちろん、定期的なイベントを開催し、繰り返し訪れても飽きのこない、子育て支援の拠点施設を目指しています。また、親子の生活の相談役として保育士が常駐したり、休憩スペースや子育て相談室が併設されるなど、育児サポートも充実しています。人口1.7万人の市ですが、3年間で約10万人が来場し、子育てに欠かせない場となっています。

京都府京都市西京区：「京都市交流促進・まちづくりプラザ」（2020年9月オープン）



京都市は、阪急電鉄とともに阪急洛西口駅～桂駅間の線路の高架化事業により生み出される空間を活用し、西京区エリア全体の活性化を目指す「洛西口～桂駅間プロジェクト」に取り組んでいます。同プロジェクトの一環として、豊かで活力ある地域社会の形成を目指す「京都市交流促進・まちづくりプラザ」を、当社が市と協働して開発しました。2024年3月末まで当社が指定管理者となり、京都市や地元のNPOと協力しながら市民の交流や子育て支援、イベントや講座を当施設で企画実施し、「あそび」で人と人、さらに人とまちをつなぐ取り組みを推進しています。オープン以来、半年で、約2万人の市民に利用されています。

【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国73ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国18ヶ所、年間277万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国約35ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンランド 広報部
担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンランド
TEL：03-5785-0860(月～金 10:00～17:00)